

法人（事業所）理念		家庭の三要素といえる「遊びの場」「生活の場」「学びの場」を兼ね備えた居場所となるような「第二の家」を目指します。									
支援方針		「第二の家」としての4つの環境を整えた支援を行います。 1. 安全・安心に過ごせる環境 2. 心の安らぎがある環境 3. 自由な活動ができる環境 4. アットホームな環境づくり									
営業時間		月～金曜 10 時 30 分から 18 時 30 分まで								送迎実施の有無	あり なし
		土・長期 9 時 00 分から 17 時 00 分まで 休み									
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	●健康状態の維持・改善：定期的な運動の機会を設け、楽しみながら体を動かすプログラム活動を提供します。運動の楽しさを体験することで、運動習慣を促進します。 ●生活習慣や生活リズムの形成：子どもたちに放課後等の生活リズムの重要性を理解させるため、あすなろでの生活のサイクルの説明を行います。視覚的なツール（カレンダーやタイムスケジュール）を使用して、規則正しい生活の利点を学ぶ機会を提供します。 ●基本的な生活スキルの習得：生活空間を清潔に保つための掃除や、整理整頓の方法を実践的に学ぶ機会を設けます。また、簡単な金銭管理のスキルを学ぶために、買い物体験を取り入れます。日常生活で役立つスキルを身につけ、自立した生活に向けた基盤を作ります。 ●生活におけるマネジメントスキルの育成：日常生活での問題解決のためのワークショップを開催します。具体的なシナリオを用いて、問題を分析し、解決策を考えるプロセスを実践することで、柔軟な思考力を育てます。									
	運動・感覚	●姿勢と運動・動作の基本的技能の向上：子どもたちの姿勢をチェックし、正しい姿勢の重要性を説明します。運動ゲーム等を通じて、体を動かす楽しさを体験させます。 ●姿勢保持運動・動作の補助的手段の活用：各子どもに対しての個別の姿勢指導を行い、正しい姿勢を維持するための具体的なアドバイスを提供します。必要に応じて、補助的手段の使用方法を指導し、日常生活での姿勢保持をサポートします。 ●身体の移動能力の向上：リレーや鬼ごっこ、ボール遊びなどのゲームを通じて、身体の移動能力を向上させます。競争心を育みながら、自然な動作を身につけることができます。 ●保有する感覚の活用：感覚を統合するためのプログラム活動を行います。例えば、音楽に合わせて動くダンスや、音に反応して動くゲーム（音を聞いて指定された動作をするなど）を通じて、感覚の統合を促進します。 ●感覚の特性への対応：子どもたちの感覚特性（過敏性や鈍感性など）を評価し、それぞれの特性に基づく個別の支援計画を立てます。これにより、各自のニーズに応じた適切なアプローチを行うことができます。									
	認知・行動	●認知の特性についての理解と対応：評価結果をもとに、各子どもに合った個別支援計画を作成します。特性に応じた具体的な目標を設定し、達成に向けたサポートを行います。 ●対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得：様々な状況における適切な行動を学ぶためのシミュレーション活動を行います。具体的なシナリオ（交通ルール、公共の場でのマナーなど）を用いて、なにをどのように行動すべきかを考える時間を設けます。 ●行動障害への予防及び対応：社会的な状況での適切な行動を学ぶためのソーシャルスキルトレーニングを実施します。ロールプレイやグループ活動を通じて、他者とのコミュニケーションや協力の重要性を理解させます。									
	言語・コミュニケーション	●コミュニケーションの基礎的能力の向上：小グループでのディスカッションを行い、意見を述べたり、他者の意見を聞く練習をします。テーマを設定し、発言の順番や相手の話を聞くルールを守ること、コミュニケーションの基本を学びます。 ●言語の受容と表出：絵カードや視覚的な情報を用いて、言葉の意味を理解しやすくします。絵を見せながら言葉を教えることで、受容と表出を結びつけます。 ●コミュニケーション手段の選択と活用：言葉だけでなく、絵カード、ジェスチャー、ボディランゲージ、AAC（補助的・代替コミュニケーション）デバイスなど、様々なコミュニケーション手段を紹介します。具体的な使用例を示し、どの手段がどのような場面で有効かを学びます。 ●状況に応じたコミュニケーション：状況に応じた感情の理解を深めるための活動を行います。感情カードを表現させたり、他者の感情を読み取る練習をします。									
	人間関係・社会性	●情緒の安定：感情を理解し、表現するためのワークショップを実施します。絵や言葉を使って自分の気持ちを表現する活動を通じて、感情の認識を深めることを目指します。 ●他者との関わり（人間関係）の形成：子どもたちが協力して取り組むプログラム活動を実施し、コミュニケーションや協力の重要性を学ぶ機会を提供します。これにより、自然な形で他者と関わる基盤を築きます。 ●遊びを通じた社会性の発達：感情を表現するための遊び（例えば、感情カードを使ったゲームなど）を通じて、自分の気持ちを理解し、他者の感情にも配慮する力を育みます。これにより共感力の向上を図ります。 ●自己の理解と行動の調整：様々な状況での適切な行動を学ぶためのロールプレイを実施します。具体的なシチュエーションを通じて、反応を調整する方法を体験し、実践的なスキルを身につけます。 ●仲間づくりと集団への参加：グループで参加できる活動を企画し、子どもたちが協力し合い、コミュニケーションを図る場を提供します。									
家族支援		●保護者との定期的（2回/年）な面談を設け、子どもの進捗状況や課題について情報共有を行います。 ●定期的なニュースレターなどを通じて、最新の情報を共有します。 ●子どもに対する具体的な目標を保護者と一緒に設定し、定期的に進捗を確認します。目標達成の喜びを共有します。 ●各家庭のニーズに応じた個別支援を提供します。									
移行支援		●自立した生活に向けた社会生活スキルを身につけるためのトレーニングを行います。例えば、時間管理、金銭管理、身だしなみ、挨拶やマナーなど、実生活に必要なスキルを練習します。 ●社会での円滑なコミュニケーションを促進するためのトレーニングを行います。グループ活動やロールプレイを通じて、他者との関わり方や自己表現スキルを高めます。 ●保育所、学校等との関係機関と連携を図り、支援体制を構築します。									
地域支援・地域連携		●地域の関係機関（学校、福祉施設、医療機関など）との連携を強化し、情報共有や協力体制を構築します。定期的な会議や勉強会を通じて、相互理解を深めます。 ●地域連携の取り組みについて定期的に評価し、改善点を見つけるためのフォローアップを行います。地域との関係を強化し、より良い支援ができるように努めます。									
職員の質の向上		●職員の専門性を高めるために、定期的に研修を開催します。テーマは、障害理解、コミュニケーション技術、行動支援、発達心理学など多岐にわたります。 ●職員同士でのフィードバックを促進する制度を設け、日常業務における良い点や改善点を共有します。相互評価を通じて、自己改善の意識を高めます。									
主な行事等		●季節のイベント：夏祭り、クリスマス会 ●スポーツイベント：ボウリング大会 ●施設内活動：クッキング、映画鑑賞会など ●施設外活動：工場見学、美術館、博物館、科学館、図書館、障害児交流施設、環境学習施設、農作業体験、買い物体験など ●避難訓練：3月・9月									